

第4学年5組 社会科学学習指導案

1 単元名 千葉県伝統文化・先人のほたらき

小単元名 地域の発展につくした人たち

2 単元について

本小単元は、学習指導要領の内容(4)ア(イ)「地域の発展に尽くした先人は、様々な苦心や努力により当時の生活の向上に貢献したこと。」イ(イ)「当時の世の中の課題や人々の願いなどに着目して、地域の発展に尽くした先人の具体的な事例を捉え、先人の働きを考え、表現すること。」に位置づけられている。

児童はこれまでに、「健康な暮らしをささえる」で、「暮らしをささえる水」や「ごみとすみよい暮らし」について、学習をした。どちらも児童にとって身近なこともあり、意欲的に取り組み、調べる姿が見られた。また、学習したことを通して、自分たちにできることはどんなことか、一人一人が自分の考えをもつ様子が見られた。しかし、本小単元は、地域の発展に尽くした先人を扱う学習である。そのため、児童にとってあまり身近ではなくなると考えられる。そこで、児童にとって身近に感じられるように導入の段階で、今の生活との繋がりを感じられるようにしていく必要がある。

本小単元は、選択単元である。「大賀一郎」「石川倉次」「染谷源右衛門」それぞれの人物の働きについて選択し学習を行う。今回の学習では、児童一人一人が人物を選び、課題意識をもち調べ、グループごとに人物について調べたことを伝え合うジグソウ形式で学習を進めていこうと思う。児童は、自分が興味をもった人物を選ぶことで、主体的に取り組むだろう。また、本小単元では、GI GAスクール構想端末、ギガタブをそれぞれの段階で用いて学習を進めていく。

つかむ段階では、「大賀一郎」「石川倉次」「染谷源右衛門」それぞれの人物がどのようなことを行ったのか、人物の行いが現在とどのように繋がっているのか紹介し、人物を少しでも身近に感じられるようにしたい。そして、児童が調べたいと興味関心をもてるようにする。また、ギガタブを使ってそれぞれの人物について紹介するスライドを作成する。この紹介スライドは共有ドライブを使って常に児童もスライドを見ることができるようにし、興味を高められるようにしたい。

調べる段階では、児童一人一人がそれぞれの人物について調べる。ただ漠然と調べるだけでは何を調べたらよいのか、どんなことがわかるとよいのか、内容がまとまらないだろう。そこで、調べる観点を明確にして児童が進んで調べることができるようになりたい。調べた内容は、オクリンクボードやJamboardを使って、それぞれの人物について観点ごとに毎時間の積み重ねていき、終末のまとめる段階に繋げられるようにしたい。

まとめる段階では、それぞれが調べた人物のことを発表する。それぞれの人物がしたことが、人々の願いを実現し生活の向上、地域が発展してきたことにつなげることができるようになりたい。オクリンクを使って調べたことを共有し、観点ごとに人物の働きを比べるようにする。比較することを通して地域の先人が、暮らしの中に多くの課題があり、どうにかしたいという願いをもっていたこと、人々の願いを実現するために様々な工夫や努力、苦勞があったこと、そして、地域の人々の生活の向上に繋がったことを捉えられるようにしたい。

本学級の児童は、社会科の学習に意欲的に取り組む姿が見られる。半数の児童は、学習問題に対して進んで調べる様子が見られるが、何を調べるのか、どこから見つけるのか具体的に示さないと調べられない児童もいる。また、調べたことから自分の考えをまとめる際には調べたことを羅列するだけで、抽象化することを苦手としている。

そこで、本小単元では、ジグソウ学習を取り入れることで、一人一人が誰について、どんなことについて調べるのか具体的に示して学習を進めていきたい。また、それぞれの人物が地域の様々な課

題や困っていること、人々の願いを実現させたことを通して、当時の人々の生活が向上したことを理解できるようにしていきたい。

3 児童の実態

省略

4 知識の構造図

中心概念 (概念的知識)	地域の発展に尽くした先人の働きによって、人々の生活の向上への願いが実現し、地域が発展してきた。 ⑪	まとめ
-----------------	--	-----

社会的事象 (具体的知識)	地域の発展に尽くした人々についての概要をつかみ、学習の見通しをもつことができるようにする。 ①	つかむ
	オオガハスと発見者の大賀一郎について知り、学習問題を作ることができるようにする。 ②③ 日本の点字をつくった石川倉次について知り、学習問題をつくることができるようにする。 ②③ 花見川と新川をつなぎ、洪水を防いだことを知り、学習問題をつくることができるようにする。 ②③	
	大賀一郎がハスの実の研究の経過について理解できるようにする。 ④ 石川倉次によって点字がつくられるまでの経過について理解できるようにする。 ④ 水害を防ぐために染谷源右衛門が考えた計画について理解できるようにする。 ④⑤	
	大賀一郎が地域の人々の協力を得ながら、研究を進めたことを理解できるようにする。 ⑤ 石川倉次が点字をつくらうと考えたきっかけを理解できるようにする。 ⑤	調べる
	大賀一郎がハスの実を発見する経緯について理解できるようにする。 ⑥ 石川倉次の点字をつくるための苦労や努力について理解できるようにする ⑥⑦ 染谷源右衛門が行った開発工事への努力や苦心を理解できるようにする。 ⑥	
	ハスの実が発見されたときや芽が出たときの大賀一郎や協力した人々の気持ちを理解できるようにする。 ⑦ 染谷源右衛門が亡くなった後の印旛沼開発の経緯について理解できるようにする。 ⑦⑧	
	オオガハスの開花が外国に伝えられ、世界の国々に広められたことを理解できるようにする。 ⑧ 石川倉次が行った点字を広めるための様々な活動について理解できるようにする。 ⑧⑨	
	オオガハスが現在の私たちの生活と結びついていることを理解できるようにする	

	る。⑨ 染谷源右衛門の開発工事によって、現在の生活が豊かになっていることを理解できるようにする。⑨	
	オオガハスの発見と開花をし た先人の働きや苦心によって、人々の願いが実現し、地域が発展してきたことを考え、表現できるようにする。 ⑩ 日本の点字が先人の働きや苦勞によって、人々の願いが実現し、地域が発展してきたことを考え、表現できるようにする。⑩ 洪水を防ぐために先人の働きや苦心によって、人々の願いが実現し、地域が発展してきたことを考え、表現できるようにする。⑩	まとめ

用語・語句	①大賀一郎 石川倉次 染谷源右衛門 オオガハス発掘記念碑 印旛沼開発工事完成記念碑 ②③オオガハス オオガハス通り 点字 水害 弁天神社の碑文 ④年表 ⑤ハスの実 凸文字 針文字 水路 ⑥くわ もっこ ⑦オオガハス ⑧友好の印 点字プリンター ⑨大賀博士育英会 イベント 水田 工業用水 憩いの場
-------	---

5 小単元の目標

県内の先人の働きについて、当時の世の中の課題や人々の願いなどに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、年表などにまとめ、地域発展に尽くした先人の具体的事例を捉え、先人の働きを考え、表現することを通して、地域発展に尽くした先人は、様々な苦心や努力により当時の生活の向上に貢献したことを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追求・解決しようとする態度を養う。

6 小単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①当時の世の中の課題や人々の願いなどについて、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報をあつめ、読み取り、地域発展に尽くした先人の具体的事例を理解している。	①当時の世の中の課題や人々の願いなどに着目して、問いを見出し、地域発展に尽くした先人の具体的事例について考え表現している。	①県内の先人の働きについて、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追求し、解決しようとしている。
②調べたことを年表や文などにまとめ、地域発展に尽くした先人は、様々な苦心や努力により当時の生活の向上に貢献したことを理解している。	②先人の働きと地域発展や人々の生活の向上を関連付けて考え、適切に表現している。	

7 指導計画(11時間扱い)

次	時配	児童の主な学習活動(○) 内容(・) 目標(●)		
つ か む	1	○地域に残る記念碑を調べ、どんな人がどのような功績を残したのかおおまかにつかむ。 ・2000年以上前に咲いていたオオガハス ・人々と協力して発見した大賀一郎 ・日本点字の研究と発展に努めた石川倉次 ・花見川と新川をつなぎ洪水を防ぐことに努めた染谷源右衛門 ●地域の発展に尽くした人々についての概要をつかみ、学習の見通しをもつことができるようにする。		
	2	○オオガハス発掘記念碑オオガハス通りについて知り、疑問に思ったことをもとに学習問題をつくる。 ・2000年以上前に咲いていたオオガハス ・人々と協力して発見した大賀一郎 ●オオガハスと発見者の大賀一郎について知り、学習問題を作ることができるようにする。	○日本の点字をつくった石川倉次について知り、疑問に思ったことをもとに学習問題をつくる。 ・日本の点字をつくった石川倉次の銅像が四街道市にあること ・日本の点字が6つの組み合わせで50音を表していること ●日本の点字をつくった石川倉次について知り、学習問題をつくることができるようにする。	○現在の新川と花見川の関係について知り、疑問に思ったことをもとに学習問題をつくる。 ・昔、印旛沼周辺は度々大きな大洪になったこと ・新川と花見川をつなぎ、洪水を防いだこと ●花見川と新川をつなぎ、洪水を防いだことを知り、学習問題をつくることができるようにする。
	3	○オオガハスの種がどのように発見されたのか学習問題について予想し、学習計画を立てる。 ・発見までの苦労や努力 ・様々な人々の思い ・調べ方 ・まとめ方 ●学習問題について予想を考え、予想をもとに学習計画を立てることができるようにする。	○どのように点字がつくられたかの学習問題について予想し、学習計画を立てる。 ・点字ができるまでの様々な苦労や努力 ・石川倉次の点字に対する思いや願い ・調べること ・調べ方 ・まとめ方 ●学習問題について予想を考え、予想をもとに学習計画を立てることができるようにする。	○どのように洪水を防いだのか学習問題について予想し、学習計画を立てる。 ・開発工事の様々な苦労や努力 ・染谷源右衛門の工事に対する思いや願い ・調べること ・調べ方 ・まとめ方 ●学習問題について予想を考え、予想をもとに学習計画を立てることができるようにする。
	4	○「大賀一郎はかせの年表」を読み取り、ハスの実がどのように発見されたのかを調べる。 ・ハスの花を咲かせるための苦労や努力 ・ハスの研究に人生を捧げたこと ●大賀一郎がハスの実の研究の経過について理解できるようにする。	○「石川倉次年表」を読み取り、日本の点字がどのようにつくられたかを調べる。 ・点字をつくるまでの苦労や努力 ・点字が完成した後も人々のために活動したこと ・日本だけでなく、世界からも認められたこと ●石川倉次によって点字がつくられるまでの経過について理解できるようにする。	○水害を防ぎ、新田を開発するために、染谷源右衛門がどのような計画を考えたかを調べる。 ・水害を防ぎ、新田を開発しようと考えたこと ・印旛沼の水を平戸川と花見川をつないで東京湾に流そうと考えたこと ●水害を防ぐために染谷源右衛門が考えた計画について理解できるようにする。
	5	○大賀一郎に協力した地域の人々の話を聞いて、地域の人々とどのように活動したのかを調べる。 ・大賀一郎に対する地域の人々の協力 ・協力した地域の人々の思いや願い ●大賀一郎が地域の人々の協力を得ながら、研究を進めたことを理解できるようにする。	○石川倉次がなぜ点字をつくろうと考えたかを調べる。 ・以前は手や背中に一文字ずつ書いていた ・覚えるのも、読むのも難しかった ・目の不自由な人たちは自由に読み書きがしたいと願っていた ●石川倉次が点字をつくろうと考えたきっかけを理解できるようにする。	
	6	○大賀一郎と地域の人々はどのようにしてハスの実を探したのか調べる。 ・ハスの実探しを手伝う近隣小学校の子供達 ・ハスの実を探す大賀一郎と地域の人々の工夫と努力。 ●大賀一郎がハスの実を発見する	○石川倉次が点字をつくるためにどのような苦労や努力をしたかを調べる。 ・外国の点字では、ひらがなを表すことができなかった。 ・何年もかけ、改良を重ねて点字を完成させた。	○染谷源右衛門が行った開発工事を知るために、東京湾への路の断面図を読み取ったり実際に使った道具を体験したりして調べる。 ・染谷源右衛門は自己財産を売り、工事を行ったこと ・昔の簡易な道具で行う作業の努力や

調 べ る		経緯について理解できるようにする。	●石川倉次の点字をつくるための苦 労や努力について理解できるように する。	苦労 ●染谷源右衛門が行った開発工事へ の努力や苦心を理解できるようにす る。
	7	○ハスの実が発見されたときや実から 芽が出たときの大賀一郎や協力した 人々がどのような気持ちだったのか 調べる。 ・探す作業打ち切り直前で、ハスの実 が発見されたときの気持ち。 ・発見された実から芽が出たときの気 持ち。 ●ハスの実が発見されたときや芽が出 たときの大賀一郎や協力した人々 の気持ちを理解できるようにする。		○染谷源右衛門が亡くなったあと、開 発工事がどのように行われ、完成した のかを調べる。 ・工事は約240年かけて完成したこと ・たくさんの人々の苦労によって完成 できたこと ●染谷源右衛門が亡くなった後の印 旛沼開発の経緯について理解でき るようにする。
	8	○地域の伝統や文化を保護したり、 継承したりするための地域の活動・行 事について振り返る。 ・大昔のハスの花を咲かせたことが外 国にも伝えられたこと ・オオガハスが友好の印として世界の 国々に株分けされたこと ●オオガハスの開花が外国に伝えら れ、世界の国々に広められたことを 理解できるようにする。	○石川倉次がどのように点字を広める 活動を行ったかを調べる。 ・点字を打つ道具の作成 ・学校の先生を育成する仕事 ・現在の点字専用図書館や点字で打 つ機械 ●石川倉次が行った点字を広めるた めの様々な活動について理解でき るようにする。	
	9	○オオガハスが現在の生活にも結び ついていることを知るために、ハス 祭りや公園の蓮池を調べる。 ・オオガハスによって地域の祭りが支 えられている ・オオガハスによって公園の美しい景 観が保たれている ●オオガハスが現在の私たちの生活 と結びついていることを理解でき るようにする。		○現在の印旛沼や花見川の開発によ って、わたしたちの生活がどのよう に変わったのか調べる。 ・水田の増加 ・飲料水や工業用水の確保 ・洪水の帽子 ・自然豊富な場所 ●染谷源右衛門の開発工事によっ て、現在の生活が豊かになっている ことを理解できるようにする。
ま と め る	10	○オオガハスの発見と開花をした大賀 一郎の働きや苦労によって、人々の 願いが実現し、地域が発展してきた ことをオクリンクにまとめる。 ・ギガタブ、オクリンクに観点ごとにま とめる ・オオガハスの発見と開花までの 苦 労や努力、人々の思いや願い ・オオガハスと現在の繋がり ●オオガハスの発見と開花をした 先 人の働きや苦心によって人々の願 いが実現し、地域が発展してきたこ とを考え、表現できるようにする。	○日本の点字が石川倉次の働きや 苦労によって、目の不自由な人々 の願いが実現し、地域が発展してき たことを発表オクリンクにまとめる。 ・ギガタブ、オクリンクに観点ごとにま とめる ・日本の点字ができるまでの苦労や 力、人々の思いや願い ・点字を広めるための活動 ●日本の点字は先人の働きや苦労に よって、人々の願いが実現し、地域 が発展してきたことを考え、表現で きるようにする。	○洪水を防ぐために染谷源右衛門や 先人の働きや苦心によって人々の 願いが実現し、地域が発展したこ とをオクリンクにまとめる。 ・ギガタブ、オクリンクに観点ごとにま とめる。 ・洪水を防ぐための開発工事の苦労 や努力、人々の思いや願い ・生活がどのように変わったのか ●洪水を防ぐために先人の働きや苦 心によって、人々の願いが実現し、 地域が発展してきたことを考え、表 現できるようにする。
	11 本時	○一人一人がまとめた発表ノートをグループワークで共有する。 ・「大賀一郎」「石川倉次」「染谷源右衛門」について、それぞれ調べ、まとめた発表ノートをグループで共有する ・問題、課題、人々の願いなど観点ごとに比較する ●地域の発展に尽くした先人の働きによって、人々の生活の向上への願いが実現し、地域が発展してきたことを 理解し、 考え、表現できるようにする。		

8 視点について

視点1 情報活用の実践力

分類A-2-①【情報収集、整理、分析、表現、発信の理解】に関連

○ジャムボードを活用した学習内容の積み重ね

本学級の児童は、自分から調べたり、資料を読み取ったりすることを苦手としている児童がいる。本単元では、ジグソウ形式で学習を進め、学習の終末には、それぞれの人物について調べたことをオクリンクを使って共有していくしていく。そのため、一人一人の調べの積み重ねが重要となってくる。

そこで、本単元の調べる段階では、調べる時間と共有する時間を設けていきたい。調べる時間には、調べる観点を明確にし、資料等から調べていくようにする。そして、学習の後半では、同じ人物について調べた児童同士で小グループを作り、調べてわかったことを「Jamboard」を使って共有をする。「Jamboard」は、児童が付箋やペンなどを使って考えを書き出しやすく、普段から発言が苦手な児童も考えを表現するのに役立っている。「Jamboard」を活用することで、調べることが苦手な児童もJamboardによって、共有された情報をもとに人物についての理解が広がると考えられる。人物について調べる、わかったことを共有することを繰り返し積み重ねることで、人物が行ったことを理解し、学習の終末の調べたことを共有する際には、調べたことをグループの友達にきちんと伝えることができ、学習のまとめにつなげることができると思う。

分類B-1-①【必要な情報を収集、整理、分析、表現する力】に関連

○オクリンクを活用した情報の共有

学習の終末では、児童一人一人が調べたことを「オクリンク」を使って共有していく。「オクリンク」は、教師が作ったノートや児童自身が作ったノートなどを互いに共有しやすく、本単元の人物の功績を比較するためには有効なツールだと考えられる。

それぞれの人物について、「世の中の課題」、「それに対する人々の願い」「人物の取り組み」「人物の苦心や努力」「人々の生活の向上」のように人物を比較する観点を比較する観点を明確にする。「オクリンク」によって共有された情報をもとに、人物の働きを同じ観点で比較することで、地域の発展に尽くした先人の働きによって、人々の生活の向上への願いが実現し、地域が発展してきたことを捉えることができると考える。また、それぞれの人物の働きを比較することを通して、先人たちがこれまでに人々の生活向上のために様々なことを行ってきたことを実感できるようにしたい。

分類C-2-①【責任をもって適切に情報を扱おうとする態度】

○共有された情報の扱い方について理解を深める。

本単元では、調べる段階では「Jamboard」を、まとめる段階では「オクリンク」を活用して学習を進めていく。「Jamboard」「オクリンク」も情報を共有しやすい反面友達の作ったデータを編集してしまうことなどが考えられる。実際に本学級の児童は「Jamboard」を使った際に、使い方がわからず大きくしすぎたり、間違っって友達のカードを編集したり、削除してしまった経験をしている。そこで、友達の共有された情報やカードなどは編集したり削除したりしないようにしていきたい。また、情報を共有するため、適切な言葉の使い方について指導をしていきたい。使い方を制限するわけではなく、情報を共有することで、自分が気づけていなかった新しい発見や考えを知り、自分の考えの広がり深まりに繋がってくることを実感できるようにしていきたい。そして、児童が自分自身で考え、適切に活用できるようにしたいと考える。

9 本時の目標

①教科の目標

○地域の発展に尽くした先人の働きによって、人々の生活の向上への願いが実現し、地域が発展してきたことを理解する。 (知識・技能)

○先人の働きと地域の発展や人々の生活の向上を関連付けて考え、適切に表現している。

(思考・判断・表現)

②ICT活用を通じて付けさせたい力

○課題や目的に応じて必要な資料を選択し、主体的に情報を収集・判断・表現・処理することができる能力。
(情報活用の実践力)

10 展開(11/11)

学習内容	○教師の支援 ◇評価 ◆付けさせたい力
1 本時のめあてを確認する。	
地域の発展につくした人たちはどのような人物でどのようなことをしたのか。	
2 人物の取り組みについて振り返りをする。 ・大賀一郎は、長い間ハスの研究をして、ハスの実をみつけて、大切に育て、今でもオオガハスが見られます。 ・石川倉次は、目の不自由な人たちのために、日本点字を作りました。 ・染谷源右衛門は、印旛沼の周りの水害を防ぎ、新田を開発するために平戸川と花見川をつなぐ開発工事を行いました。 3 オクリンクで前時にまとめた人物の行ったことについて伝え合う。 ・大賀一郎は、古代ハスの実を見つけて育て、花を咲かせました。なかなか見つからなかったが、やっと見つかった実を大切に育て、今は千葉市の花として梅雨時期になると千葉公園のイベントなどできれいに咲いています。 ・石川倉次は、目の不自由な人たちの教育のために、日本点字を作った。石川倉次が考えた点字が選ばれました。その後、点字を打つ道具なども作って日本全国に点字を広げていきました。 ・印旛沼の周辺は洪水などにより、農作物が取れなかったり、命を落とす人もいて悩んでいた。そこで、染谷源右衛門は、印旛沼の周りの水害を防ぎ、新田を開発するために平戸川と花見川をつなぐ開発工事を行いました。何度も工事は行われて昭和時代に完成した。	○これまでの学習の積み重ねを振り返り、地域の発展に尽くした先人の働きについてまとめる学習について意欲を高められるようにする。 ○それぞれの人物について前時までに観点ごとにまとめたことをオクリンクを使って共有する。 ○人物が行ったことについて、「発表グループ」の中で、観点ごとに人物のことについて伝え合うことで、共通点を探す活動につながるようにする。 ○友達から共有された情報を責任もって適切に扱えるように、共有されたデータは、編集をせず、自分の考えと比較したり共通点を見つけたりするために活用することを伝える。 ○情報が共有しやすいように事前に作成したグループ表を掲示し、児童が自分で確認して共有できるようにする。 ◆課題や目的に応じて必要な資料を選択し、主体的に情報を収集・判断・表現・処理することができる能力。(情報活用の実践力)
4 人物の働きについて共通点をさがす。 ・3人とも地域の人々のために取り組んでいました。 ・3人共、願いを達成するために様々な苦労や努力、工夫がありました。 ・3人の働きによって、その後人々の生活が向上しました。	○3人の人物の働きの共通点に気付けるように、共有したオクリンクのカードを「世の中の課題」「人々の願い」「人物の取り組み」「人物の苦心や努力」「人々の生活の向上」の観点ごとに組み替えるようにする。 ○それぞれの人物の働きには違いがあるため、共通点を見つけることができるように、「世の中の課題」「人々の願い」「人物の取り組み」「人物の苦心や努力」「人々の生活の向上」と観点を示し働きが人々の暮らしに役立ったことを見つけられる

5 学習のまとめをする。	ようにする。 ○共通点を見つけられるように、共有したデータだけでなく、オクリンクの「提出ボックス」に集めたクラス全体のデータを見比べるようにする。 ◇地域の発展に尽くした先人の働きによって、人々の生活の向上への願いが実現し、地域が発展してきたことを理解する （知識・技能） ◇先人の働きと地域が発展や人々の生活の向上を関連付けて考え、適切に表現している。 （思考・判断・表現）
地域の発展につくした先人の働きによって、人々の生活の向上への願いが実現し、地域が発展してきた。	
6 学習の振り返りをする。	○これまでの学習を振り返ることができるように学習の積み重ねや本時の学習を通して振り返るようにする。

11 参考文献・資料等

- ・小学校学習指導要領解説 社会編
- ・小学校学習指導要領解説 総則編